

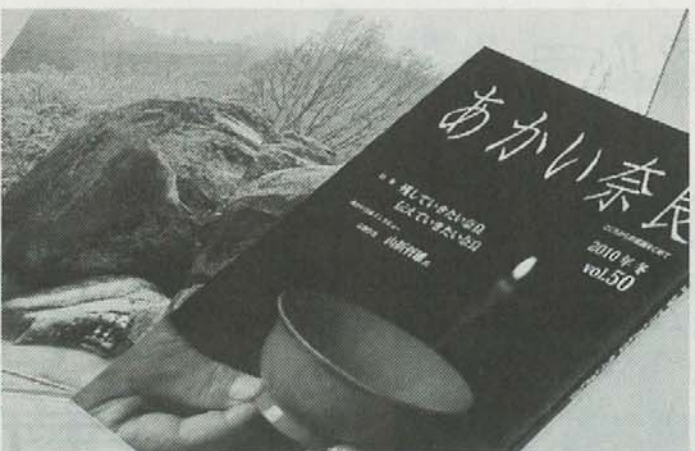
奈良の魅力を伝える季刊雑誌「あかい奈良」が現在発売中の冬号で50号を迎えた。平成10年秋の創刊から13年目。4代目編集長の倉橋みどりさん(44)は「これからも『次世代に残したい奈良』を紹介していく、それがスタッフ全員の思い」と話している。

# こだわり大和 次世代へ発信

「あかい奈良」はA4判、約50ページ、フルカラー。古代から現代まで、時代も分野も多岐にわたる特集やインタビューなど、充実の内容で全国に読者を広げている。

タイトルの「あか」は、古代から伝わる朱や丹の意味で、創刊号からずっと表紙は奈良にまつわる赤いもの。平成12年には県観光連盟(当時)主催の「第2回奈良県観光P

## 「あかい奈良」50号



「こだわりの奈良」を発信する「あかい奈良」50号

## 各分野のプロ集結 創刊13年、全国に読者

R大賞最優秀賞」も受賞した。

刊行のきっかけは実業印刷(奈良市)の沢井啓祐社長(63)の「奈良の活性化には地元で暮らす人間が、自らこだわる奈良の良さを発信するのが一番」との思い。やがて仲間が集まり、広告掲載なし、ライターやカメラマンなど、奈良に思いを寄せる各分野のプロが無報酬で参加する独自のスタイルができた。

節目の50号の巻頭は、過去と現代、自然と人間が交錯するさまざまな奈良の風景と短い文章で構成した16ページの特集が飾った。インタビューは宗教学者の山折哲雄氏。スタッフおすすめのおき「おきの奈良」も紹介している。

各書店で発売中。500円。問い合わせは同編集局、電話0742(20)5044。